



YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

1677号

会 長	横澤 創	会長エレクト	岸 幸博	事 務 所	大和市大和南2丁目1番1号
副 会 長	松崎正実	幹 事	入江公敏		大和中央ビル 301
会報委員会	小柳智裕	阿萬正巳	後藤定毅		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
	古郡 清	石川達男			E-mail : naka-office@ynrc.jp
例 会 場	八千代銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)				URL : http://www.ynrc.jp

国際ロータリーテーマ

Peace Through Service

「奉仕を通じて平和を」 RI会長 田中作次

大和中ロータリークラブ会長ターゲット

週一度 みんなに会える 楽しみ

【本日のプログラム】 7月4日 挨拶「就任にあたり」 会長・幹事 第1回クラブ協議会「年度始めにあたり」
【次回予告】 7月11日 クラブフォーラム「青少年基金について」 会長・幹事

【第1672例会】 平成25年6月20日(木) 【司会SAA】 鈴木 洋子 君 【斉唱】 「それこそロータリー」
【ソングリーダー】 池澤 利男 君

会長の時間 横澤 創 会長

大変残念なお知らせをしなければなりません。
飯田豊太会員が、6月をもって退会されます。
足かけ26年間ロータリーに在籍され、マルチプル
ポールハリスフェロー、マルチプル米山功労者を始め、ロータリアンとして多くの功績を残していただきました。そして、飯田さんの軽妙洒落な語り口は、いつも我々を和ませてくれました。この度の東慶州RC
離就任式に当たり、訪韓団に対し多大なるご奉仕を頂きました事も併せて皆様にお伝えします。飯田
さんを我がクラブから失うことは
痛恨の極みです。病気を治して
いただき、一日も早い復帰を祈るばかりです。

それでは飯田さんより御挨拶をお願いします。

【飯田さんより退会の御挨拶】



先週のクラブ協議会において、中西出席委員長からご報告がありました出席率向上に寄与した会員の表彰の件ですが、月曜日に集計が終わりました。つきましては、このデータに基づき選考および予算について早々に理事会に諮ります。

本日は間に合いませんが、7月の第一例会に表彰式を行いますので、ご期待下さい。

幹事報告 入江 公敏 幹事

- ①6/13第6グループ会長幹事会が行われました。
- ②次週の27日はクラブ定款第6条第1節(C)により
例会はお休みです。

委員会報告

お祝いの方々

親睦活動委員会

池澤 利男 委員

創業記念日	長野 俊八 君	6月21日
	阿萬 正巳 君	6月28日
入会記念日	藤田 重成 君	6月23日
	伊藤 英夫 君	6月23日
	上田 利久 君	6月23日

卓 話

「一年を顧みて」

横澤 創 会長

「週一度 みんなに会える
楽しみ」 会員の皆さんが
この事を感じて頂けるかどうか、そのクラブに「週一度 みんなに会える 楽しみ」があるかどうか、クラブの真価を問う物差しであります。一人ではつんと昼食をとるだけのロータリーに価値を見いだ



会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 4名(敬称略)
43名	37名	90.24%	78.05%	6名	引田、神作、梅野、山崎

せと言われても、それは無理なことです。誰かが親しく声を掛けることによって、彼の心に「週一度 Aさんに会える 楽しみ」が芽生えるのではないのでしょうか。そして、Bさんにも会える楽しみとなり、やがてみんなに会える楽しみを感じ、ロータリーの価値を共有する仲間になっていくのだと思います。

「週一度 みんなに会える 楽しみ」の実現に向けて、「例会の充実」を重点テーマにおぼしました。ロータリーは会費も平等、身分も平等です。しかし、役割上、執行部は会を運営する責任があります。一年という限られた期間ですが、だからこそ全力で会員満足のために知恵を絞り、努力をして参りました。「例会の充実」は執行部が会員満足を獲得するための最も大事な仕事です。皆さんが日々の仕事で「顧客満足」に知恵を絞るのと同じことです。

「週一度 みんなに会える 楽しみ」の実現に向かって多くの人たちに助けて頂きました。例会場を快くお貸し頂いている八千代銀行様の寛大なご配慮に、お礼の言葉も見つかりません。例会のスムーズな運営は、事務局の藤原さん、安倍さんの気持ちのいい心遣いがあったことです。

理事役員の皆様には、2時間を超えるマラソン理事会もございました。通常の議案のほか、細則・内規の改正、青少年育成基金の運営に向けての具体化、会員の高齢化に伴う会費一部免除の制定、会計原則のあるべき姿の確立等、懸案の事案を改正出来た事は、理事役員の皆様の真摯な議論のお陰です。

入江公敏君を幹事に戴いたことは、私にとって天の恵みでした。就任前の大事な3月、癌の手術で1ヶ月の空白を作ってしまった時も、粛々と準備をしていただきました。成功の条件は、99%の準備力と1%の対応力です。現場合わせの対応は、何倍ものエネルギーとコストを費やします。

「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」とは、野村監督の名言。準備無き者には、偶然すら起こらないということでしょうか。入江幹事は、持ち前のアイデアと実行力で、機関車のように見えますが、実は、周到な準備に裏打ちされた実行力です。準備の第一段階は、細やかな気づきです。彼とのコミュニケーションは毎日でした。メールで、電話で、ロータリーに関する情報を共有し、予測される問題点を洗い出し、対応を協議しながら最終形をイメージして逆算の計画を立て、丁寧に実行する、ぶれずに任務を遂行できました事は、入江幹事との二人三脚が充分機能した結果であると思います。

一年間、多くの方々に支えられ、本日を迎えますことに、心より御礼申し上げます。有難うございました。

さて、年度前半は、年頭に当たりの挨拶の時に総括致しましたので、年度後半を中心に振り返って

見たいと思います。年度後半も、大きなイベントがございました。座間RCを交えた4クラブ合同例会・賀詞交歓会は、逗子RC山科誠様(ペンネーム茶屋二郎様)による新春特別講演「明治維新VS平成維新」を拝聴しました。山科様は、玩具のバンダイの元社長で、小説家であり、歴史研究家であり、今も新しいことに取り組んでおられる多才な方です。氏の講演は、単に「歴史秘話」に留まらず、平成の日本人が皆、自信喪失し下を向いている現状に喝を入れられ、これからの日本の進むべき道のアイデアを披露してくれました。我が地区に、このような才能ある方がいらっしゃることに、驚きと感動を覚えました。

第2部の賀詞交歓会では、100名の会員が一堂に会し、壮観の一言でした。クラブを超えて親睦を図る目的は十分達成できました。この合同例会で良かった点は、テーブルごとに4クラブの会員をシャッフルしての着席計画ができたこと、また、先着順に前列のテーブルより着席していただき、遅れて来た会員がスムーズに着座でき、混乱も無く静かに講演に集中できたことです。とかく〇〇さんを上席にと気を使うのが常ですが、あのような講演会は、静寂が最も優先される事柄ですので、今後も参考にさせていただければと思います。

座間クラブがホストのIMは、我がクラブから33名の会員が出席されました。

6グループの中では、圧倒的に多い出席で、会長として、こんなに嬉しく、誇らしいことはございません。有難うございました。ちなみにガバナー補佐を輩出している厚木クラブは19名の出席で、壽永ガバナー補佐は「俺の魅力がねえのかなあ」と泣いていました。慰めの言葉も見つからず「そうかもしれないねえ」と言ってしまいました。次年度は我がクラブがホストです。今年度を超えるIMにしましょう。

職業奉仕委員会による企業訪問は、プリジストン小平工場を見学し、うかい鳥山で懇親会を致しました。梅田夫人、岸夫人、飯田夫人、古郡夫人に特別参加をお願い、丸一日の工程で真面目に勉強、楽しく親睦というロータリーのモットーを実践しました。神作委員長を始め、職業奉仕委員会の皆様、有難うございました。

東慶州RCの皆様16名が来日され、共に姉妹クラブ締結30周年を祝った合同例会では、心のこもったおもてなしが出来ました。成田空港へお出迎えをし、みなとみらい周辺の観光、合同例会、懇親会、関内での2次会と初日を終え、二日目は、横浜観光、中華街の探索と食事、そして古都鎌倉観光を済ませ、東京泊。三日目は、相撲部屋「しころ山」の朝稽古の見学、横綱青葉山のちゃんこ料理で舌づつみをうち、スカイツリー周辺観光と買い物、そして、成田空港へ見送りの工程でした。全行程を皆勤したのは、橋本日吉委員長と富沢克司君。ご

苦労様でした。お二人には、来週の東慶州RC離就任式で特別のご接待があると思います。

30年前に寺田会長と鄭会長のもとで契った姉妹クラブの縁は、先輩諸兄のご尽力で、今日の大縁となりました。後藤クラブ研修リーダーの一口コラムに、30年間の両クラブ歴代会長と、時のRIテーマの一覧が掲載されていますが、30年の間に双方のクラブ会長が14人ずつご逝去あるいは退会されています。約半数です。時が移ろい、人が移ろう中で、これほど長い間姉妹クラブの関係が友好的に継続している例は、ロータリーでは珍しいことだとお聞きしました。通り一遍の社交辞令では、このような関係は継続できません。それは、クラブを超えた、個人的な信頼と友情のかけ橋が幾重にも掛っているからだと思います。私も、合同例会で金会長との信頼関係を構築できたように思います。言葉は通じませんが、背負っている荷物の重さは、会長同士で解り合えるものです。今回の事業は、企画、計画を綿密に行い、下見を何回も重ねた姉妹クラブ関係者並びに入江幹事のご尽力によるものです。感謝にたえません。

創立35周年記念家族例会が横浜うかい亭で開催されました。梅田親睦委員長の号令のもと、委員会のメンバーが企画、準備をしていただき、記憶に残る家族会が出来ました。いつもながら、親睦委員会の皆さんの、心配りに感謝いたします。藤田大先輩の乾杯の音頭は圧巻でした。百歳ロータリアンを目指してご活躍をお祈り致します。

さて会員の皆様のご賛同をいただき、35周年記念事業として、東日本大震災青少年支援連絡協議会「ロータリー希望の風奨学金」に寄付を致しました。震災から3回忌に当たる本年が、我がクラブの35周年と重なり、周年事業積立金から35万円を拠出致しました。

ご案内の通り、後藤ガバナー、舘盛会長年度の3月11日、あの未曾有の震災が勃発し、ガバナー会が窓口となって義捐金を募りました。結果として、約10億円という大きな義捐金が集まりました。新年度以降のいきさつは、前にもお話しした通り残念な結果となりました。結局10地区のみの賛同プログラムとなり、原資は非賛同地区に返却した残りの3億円、対象も高校生を除外し、当初のオール・ジャパン構想には程遠いものとなってしまいました。このいきさつを聞くにつけ、義捐金を募ったガバナー会の意思が、次の年度のカバナー会に反映されないという、世間ではありえない事態が起こったことに、憤りを感じたのは私だけではなかったと思います。単年度制の弊害を論じる以前の問題です。

「希望の風奨学金」は発足後、台湾からの一億四千万円の大口寄付があり、我がクラブのような支援が全国から寄せられ、何とか8年間は奨学金を支給できる目途が立っているそうです。しかし、震

災時に生まれた赤子が大学を卒業するまでには20年掛ります。息の長い支援になりますが、このような支援こそ、ロータリーにふさわしい支援かと思えます。10地区のカバナーは、事務処理、経理処理を自ら行い、通信費等の必要経費以外はすべて手弁当で運営しているそうです。震災遺児の奨学金予算を少しでも多くという強い意志が感じられます。当事者であった後藤さんは、10人の侍の奮闘に共感し、我がクラブの支援と同時に、個人的に寄付をされたそうです。

創立35周年記念家族例会が、親睦を楽しみながらも、意義のある、記憶に残る例会が出来ました。改めまして親睦委員会の皆様に感謝いたします。

外部講師による卓話は、6回開催されました。

野村証券の千田様は「どうなる世界の景気」の卓話でした。衆議院解散が決まった昨年の11月14日の株価が8千6百円、卓話の時点の株価は一万一千円、そんな時でしたから、普段にも増して強気な見通しでした。その後も一本調子で上がり続け、一時は1万6千円を窺いましたが今、調整に入っているようです。3本目の矢である成長戦略で、岩盤を突き破る大胆な規制緩和が打ち出せれば、日本再浮上が確かなものになるでしょう。

大和青年会議所の福本理事長の卓話もございました。彼が、勤め人の頃、GSEで米国に行かれたとのことでした。身近な知り合いが、偶然にもロータリーのプログラムに参加されたことを聴き、ロータリーの幅広い活動に驚きました。彼のようなロータリーのファンを作る事業も大事な仕事です。

第2590地区パストガバナー川野正久氏の卓話「ロータリーの点と線」は、ロータリーの変遷を解りやすく解説していただき、現状のロータリーの問題点、その解決方法を示唆していただきました。川野氏は後藤さんと同期のカバナーで、先ほどお話致しました「ロータリー希望の風奨学金」の協議会委員であり、10人の侍の一人です。穏やかな人柄で、深い思索に裏付けられた使命感は、リーダーにふさわしい方とお見受けし、益々のご活躍を期待します。

地区広報委員長の長谷川洋平氏は「戦略計画と公共イメージについて」お話頂きました。変わりゆくRI、財団のこれからの方向性を解説していただきました。「温故知新」という言葉がありますが、故きを全て捨て去っての革新はいかなものかと思えます。ロータリーはもう一度、守らなければいけないもの、革新すべきものを総括する時間が必要です。

柏木学園長、柏木照明様の「数を楽しむ」という卓話は、頭の体操になりました。算盤教室から、現在の学校法人に育てるまでの間、様々なご苦労があったものと推察しますが、それを感じさせない氏の語り口は、さすが教育者だと思いました。在野には、人物がいるものです。

元会員 椋茂廣氏の「東北地震報告」も興味深いものでした。津波に目を奪われがちですが、建物の被害があのように深刻なものだったとは知りませんでした。7年前に、胃がんの手術で退会されましたが、その後は再発も無いようですので、是非戻っていただき、共に、奉仕の理想を語り合いたいものです。

イベント以外の夜間例会は2回ありました。米山奨学生 斉忠良君の卒業式、長谷川清君、藤田正巳君のインシエーションスピーチ、将来の会員予定者 新村様、上条様をゲストにお迎えしての例会でした。懇親会のベリーグラスでは、会員の皆様の顔が10歳若返りました。一緒に踊った入江幹事、中島副幹事、大変ご苦労様でした。ベリーグラスというよりも、ほとんど阿波踊りでしたが。

カウンセラーの高橋清さんは、斉忠良君を自宅に何度かお招きくださり、一緒に食事をされ、公私ともにお世話をいただきました、大変有難うございます。米山奨学生として経験した1年は、彼のこれからの人生に大きな影響をもたらしたことでしょう。ロータリーの米山奨学金制度は、草の根的な地に足のついた事業です。このような奉仕こそ、将来の国家間の平和と信頼を醸成するための近道なのかも知れません。

次の夜間例会は、池澤利男君のインシエーションスピーチ、そしてプログラム委員会作成によるスライドで、1年間の例会の様子を振り返っていただきました。例会の充実をテーマにした1年でしたが、あの時は、ああすれば、こうすればと反省しきりの例会でした。反省なくして進歩なしですから、次年度もこのような例会をお勧めします。

会員の卓話では、上田会員による「地球に残された時間」 辻会員による「ソフト開発について」 竹内会員によるインシエーションスピーチと「コーチング論について」を拝聴致しました。

上田会員は、レスター・ブラウンの著書から引用され、今地球上で起きている異常気象、水問題を提起され、Rで取り組むべきポリオ終結後の目標を示唆していただきました。

辻会員は、物凄いスピードで、限りなく進化するTについて、ご自身の職業を通じた具体的なお話をしていただきました。技術革新の最先端で仕事をされている辻さんの能力に頭が下がります。話は変わりますが、懸案でありました、我がクラブのデータ化に取り組んでいただき、本年度の予算内での仕事を完了していただきました。クラブ計画書、会報、写真などをデータ化し、ホームページで閲覧することが出来ます。これにより、データの分散化が図られ、万が一の災害にも万全を期すことが出来ました。感謝いたします。

竹内会員は、「多様化・複雑化している人の気持ちを、お互いに理解する過程で発揮されるコミュ

ニケーションスキルがコーチングの目的」と話されました。日々の不特定多数の顧客、対応する職員、そのすべてにコミュニケーションが発生し、結果が業績に反映されるという銀行業で、支店長という仕事は、我々には想像もできない重責なのだと思います。ご奮闘をお祈り致します。たまには、一杯やりましょう。

奉仕プロジェクトの第3弾は、大和市で退役した救急車をフィリピン・ボホール島に贈呈するものです。関税の問題、輸出入の問題で遅れましたが、今、船でセブ島に向かっている最中です。ボホール島での引き渡しセレモニーは次年度に入っていますが、その時には多くの会員でボホールに伺いましょう。

会報の事、増強の事、財団・米山・スマイルの寄付の事等々、まだまだ、お話ししたい事がございますが、時間の関係上終わりに致します。

先日、スポーツジャーナリストの二宮清純氏の講演を聴く機会がありました。リーダーシップについて、感銘深いお話でしたので皆様にご紹介し、最終最後のスピーチをしめくらせていただきます。

2011年、日本中が熱狂した女子サッカーワールドカップ。決勝戦で宿敵米国を破り、世界一に輝いたあの瞬間は、皆様の記憶に残るドラマでした。

1点ビハインドの延長戦後半、宮間のコーナーキックに澤ガニアに飛び込み、右足をかすめてゴールした瞬間、同点に追いついた瞬間です。まさに奇跡が起こりました。日本中の誰もが、フンバックのヘディングシュートであきらめかけていたその時、彼女たちは皆、前を向いていました。まだチャンスはあると。

あのチームのキャプテンは、名実ともに澤ほまれ選手です。彼女はイレブンにいつも、こう言ったそうです。「苦しい時には私の背中を見なさい」と。

栄華を極めたローマ帝国は、帝王から王子へ、そのまた王子へと帝王学を伝えました。その帝王学の最初のページに「il bello dorso」とあるそうです。凜とした、毅然とした、美しい背中という意味だそうです。

子供は親の顔を見ているのではない。親の背中を見ているのだ。

生徒は先生の顔を見ているのではない。先生の背中を見ているのだ。

選手は監督の顔を見ているのではない。監督の背中を見ているのだ。

社員は社長の顔を見ているのではない。社長の背中を見ているのだと。

良きリーダーたらんとするものは、自らの地位にふさわしい凜とした、毅然とした、美しい背中を持つということでしょう。

私たちは、選ばれた誇り高きロータリアンです。それぞれが地域の、企業のリーダーです。ロータリー

は、凜とした美しい背中を創る道場でもあります。

澤選手のように「私の背中を見なさい」と言えるようなリーダーシップこそ、私たちロータリアンの目標ではないでしょうか。

「週一度 みんなに会える 楽しみ」に向かって全力で走り続けた一年間でありましたが、最後まで、私の長話にお付き合いいただきました事に感謝申し上げます、一年の締めくくりと致します。

ご静聴有難うございました。

入江 公敏 幹事

【年間報告】

所 属 国際ローター

第2780地区第6グループ

1 クラブ数 63クラブ

1 国際ローター会長 田中 作次
第2780地区ガバナー 菅原 光志

第6グループガバナー補佐 壽永 純昭

1 会員数 年初 39名

現在 43名

入会 5名 (野口宏君、竹内彰君、
長谷川清君、藤田方巳君、池澤利男君)

退会 1名 (岩松薫君)

1 出席率 87.59%

1 ゲストビジター数 181名

1 例会 通常 38回
夜間 7回
家族会 3回
取り止め 4回

1 スマイルボックス

目標額 1,500,000円

達成額 7月～6月 1,528,470円

達成率 101.90%

1 ローター財団

目標額 7,800ドル(1人あたり\$200)

達成額 7月～6月 10,935.6ドル

達成率 140.20%

1 米山記念奨学金

目標額 780,000円(一人あたり20,000円)

達成額 7月～6月 882,500円

達成率 113.14%

先ほど会長からお褒めの言葉を頂き、大変恐縮しております。二人三脚と言うお話がありましたが、むしろムカデ競走で前の会長に足を合わせていただけでした。いずれにしても、この一年は、ロータリアンになって初めて、非常に勉強になった



一年でありました。

私は、今までローターのことは大変勉強不足でした。会員や事務局は全て、幹事に照会があります。分からないことばかりでした。自分も努力しましたが、そのうち、幹事に聞いてくるのは、幹事に聞いているだけではなく、会長への質問や関係委員会への質問が多い事です。幹事はその質問をしっかりと調べて教えてくれと言うことだと感じました。幹事だけで判断できないことが沢山あります。常に会長と連携を密にして結論を早く出し回答することにしました。会長には毎日朝晩連絡を取り、入院中も、土日祝日も例外ではありませんでした。

今年度、リノベーション35と銘打って、いろいろな取り組みを変えることができました。決める過程に於いて、気がついたことですが、あらためてローターは会員が平等で民主的な組織であるという点です。企業や、他の団体等の多くは、命令や決定は上位下達で決められることが多い中で、RCは、理事会の先議権がしっかりしている点です。規定や運用の変更には、会長幹事が、どんなに良識と節度を持っていると思っても、理事役員に理解が得られなければ決められない。その為に、準備と時間を心がけたつもりです。長時間に渡りしっかりと議論して決められたことは理事役員の皆様に改めて、見識の深さに敬服する限りです。

会長の話にもありましたが、運営に当たっては、正確な情報収集による早めの準備、手順を良く考えて行うことが大切であると認識いたしました。これを誤ると、理事役員のみならず、会員からも納得性を得ない組織となってしまうように思います。RCは説得力だけは動かない健全性が命だと感じます。

横澤会長は、会長の時間の話も素晴らしいですが、人の使い方もうまいと思います。まずは、任せられることです。ただし、丸投げでは無い事です。幹事・SAA・プログラム委員長・奉仕プロジェクト委員長・親睦委員長等各委員長ときめ細かい打ち合わせを行い、時機を得た中間チェックを背景に、状況把握が正確であることです。場合によっては仕切り直しを適宜行っていました。一番の例が、地引網です。当初は親睦活動で計画していましたが奉仕活動への転換を行い、素早い対応で多額の地区資金を協力頂くことにもなりました。会長のお陰で、やり易かったと思うのは幹事だけでは無いと思います。また、会長は、前例踏襲を嫌ったわけではないと思います。前例に従いながらも良く考えて運用した結果だと思います。

ここで弁護いたしますが、会長は仕事や仕事以外の活動で大変忙しい方です。土日無く、夜のお付き合いも活発です。だからこそ、仕事を持ち越さない。遅くても翌日には結論が出ています。必ず、こまめに連絡があり、指示や考え方の伝達が非常に密で大変勉強になりました。

もう一つ勉強になったことが奉仕活動についてです。後藤パストガバナーから、RCは行政区でテリトリーがあり、社会奉仕は、地域の地元の人々を対象に検討するよう手続要覧に記載してあることです。また、RCは奉仕屋になってはいけないということをお教わりしました。多くのロータリアンは普段は奉仕に関わる機会が少ないから、困っている話を聞くと全て手を差し伸べたくりますが、まずは、地域であり、地元であり、大事なものは、しっかり調査した上で、優先順位を決めて行うことが絶対条件だと感じました。まずは我々の同胞を優先することは当然であると考えます。

最後になりますが、去年の今頃、最初はどんな

るかと思いましたが、なんとか一年全うできましたのは、理事役員、各委員長また会員の皆様のおかげだと思います。本当に感謝申し上げます。

それから、横澤会長の下で、幹事として活動できたことが神の巡り合わせだと思いますし、大変素晴らしい一年を与えていただいた横澤会長に改めて御礼申し上げます。終わりに、会長に教わったことで唯一自分でもできることがあります。それは、「職務の上では、煩わしいと思っはいけない。」ということです。直ぐに準備をし実行に移すこと。これを自分でも肝に銘じて行くことをお約束して、幹事としての一年の締めとさせていただきます。ありがとうございました。

スマイルボックス 岸 幸博 委員長

本日 ¥64,000 累計 ¥1,032,670

横澤 創 会長・入江 公敏 幹事

会員の皆さん、無事に一年を過ごせました。この間ご協力頂きありがとうございました。本日は会長・幹事より、「一年を顧みて」です。宜しくお願ひ致します。

飯田 豊太 君

いろいろとお世話になりました。今後とも宜しくお願ひ致します。

後藤 定毅 君

横澤会長、入江幹事、立派な航海を終えて帰港される日に出席できず、すみません。クラブの歴史に大きな足跡を残された二人でした。ご苦勞様でした。(リスボン国際大会出席のため欠席です。)

郡司 守 君

横澤会長・入江幹事、一年間ご苦勞様でした。本年は多くの例会改善を行い、変化にとんだ一年でした。今後のご活躍祈ります。

高橋 政勝 君

横澤会長、入江幹事、一年間大変ご苦勞様でした。お蔭様で楽しい一年間でした。ありがとうございました。

上田 利久 君

横澤会長殿、毎週素敵なお話を頂き、心に残っています。ガン友の一人として心から敬服しております。入江幹事殿、いつもの確なフォロー、一年間ありがとうございました。

藤塚 勝明 君

横澤会長、入江幹事、一年間卓越したご指導は誠にお見事でした。心より感謝いたします。

松崎 正実 君

横澤会長、入江幹事、一年間ご苦勞様でした。会長方針が充分満たされた例会であったと思います。ありがとうございました。

古郡 清 君

横澤会長、入江幹事、お疲れ様でした。飯田さん、健康に留意して下さい。

館盛 道明 君

横澤、入江、会長・幹事、ご苦勞様でした。

中西 功 君

会長・幹事、理事、役員の方々ご苦勞様でした。

石川 健次 君

横澤会長、入江幹事、ご苦勞様でした。充実した年頃だったと思います。一年間お疲れ様でした。

原嶋 賢一郎 君

横澤会長、入江幹事、一年間お疲れ様でした。飯田さん、顔が見れないのがさびしいです。

北島 照介 君

横澤会長、入江幹事、一年間お疲れ様でした。1、2日ゆっくり休んで下さい。

辻 彰彦 君

①飯田さん、悲しすぎます。帰って来られるまで待ちます。

②横澤会長、入江幹事、一年間本当にありがとうございました。良いクラブになりました。

長谷川 清 君

①横澤会長、入江幹事、一年間ご苦勞様でした。後は東慶州に行くだけです。

②6/30(日)に秦野のホールで所属しているオーケストラの演奏会があります。上手く吹ける様自分にお願ひをします。

橋本 吉宣 君

横澤会長、入江幹事、一年間お疲れ様でした。楽しい時間をありがとうございました!!

石川 達男 君

横澤会長、入江幹事、一年間お疲れ様でした。横澤会長の名スピーチはいつも心に残りました。

岸 幸博 君

横澤会長、入江幹事、一年間ご苦勞様でした。

中島 康次郎 君

横澤会長、入江幹事、お疲れ様でした。これからは戻って来る港の灯りです。目指して頑張ります。

梅田 秀雄 君、北砂 明彦 君、阿萬 正巳 君

横澤会長、入江幹事、一年間ありがとうございました。会長のスピーチを聞けなくなると思うと残念ですが...

長野 俊八 君

①創業記念日のお祝いありがとうございます。継続は力なり。もう少しポチポチ頑張ります。

②横澤会長、入江幹事、一年間ご苦勞様でした。

青柳 文四郎 君

皆出席10年のお祝いを頂きありがとうございます。横澤会長、入江幹事、一年間ご苦勞様でした。

伊藤 英夫 君

入会記念日のお祝いありがとうございます。本年も向かえる事が出来、来年も頑張ります。

阿萬 正巳 君

創業記念日のお祝いありがとうございます。

SAA 飯田 豊太 君、橋本 日吉 君、鈴木 洋子 君、高橋 清 君

一年間皆様のご協力で滞りなく終える事ができました。ありがとうございました。

姉妹クラブ友好委員会 橋本 日吉 君、鈴木 洋子 君、富澤 克司 君

横澤会長、入江幹事、素晴らしい一年間ありがとうございました。お蔭様で姉妹クラブ友好委員会も後継就任式を残して無事に終える事が出来ます。皆様へ感謝!!